全国農業協同組合連合会 農林中央金庫

新技術による牛呼吸器病病原体遺伝子一括検査の導入について ~(全農・農林中金)家畜の衛生検査としては世界初の実用化~

JA全農家畜衛生研究所クリニックセンターは平成28年6月より、養牛農家向けの家畜衛生検査(牛クリニック検査)に「新技術(DNAチップ法)による牛呼吸器病症候群(BRDC)ー括遺伝子検査」を新メニューとして加えます。

クリニックセンターは家畜疾病蔓延防止のための活動を行う機関であり、全国 1,600 戸余りの加入農家(全国養鶏農家の約30%、養豚農家の約10%)に衛生検査サービスを有料で提供しています。新しい検査メニューは養牛農家の経済的被害の大きい牛呼吸器病の原因となる9種類の病原体の一括検査を提供するものです。この検査により子牛の呼吸器病の複合感染の状況を迅速に把握できるようになり、適切な衛生対策による子牛の疾病防止をはかります。

この検査法は、従来の遺伝子増幅法と東芝メディカルシステムズ株式会社の独自技術である電流検出型DNAチップ法という遺伝子検出法を組み合わせることにより感度と精度をあげた新しい技術であり、家畜の衛生検査としては世界初の実用化となります。

本検査は、9種類の病原体を個別に検査するよりも一括して検査が出来るため、ご利用いただきやすい料金でサービスを提供できるようになります。また、農林中央金庫は平成30年度までの3年間、「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」(※)を通じて農家が負担する検査料金の一部を助成いたします(助成は検査料金に反映されています)。

## ※「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」

国の「農林水産業・地域社会の活力創造プラン」に連動する形で、支援額 1,000億円規模の事業を構築することとしているもの。

## 電流検出型病原体遺伝子検出装置およびDNAチップカード



以 上

## <本件にかかるお問い合わせ先>

全国農業協同組合連合会 畜産生産部 家畜衛生研究所 (落合) 043-486-1015 農林中央金庫 総合企画部 広報企画室 (田口,三上) 03-5222-2017